

## 製品安全データシート (MSDS)

### 1. 化学物質及び会社情報

製品名: サイアソープ® UV2908 光安定剤

製品概要: 3,5-ジ-[t-ブチル]-4-ヒドロキシ安息香酸, ヘキサデシルエステル  
用途: プラスチック添加剤

日本サイテック インダストリーズ 株式会社  
〒135-0063 東京都江東区有明 3-5-7 TOC有明イーストタワー9階  
Tel: 03-5564-3065

緊急連絡電話 (24時間対応) - 流出、漏洩、火災、汚染、災害等の緊急事態の連絡先:

日本 - +65 3158 1074 (Carechem24 Singapore)

アジア・太平洋地域:

オーストラリア - +61-3-9663-2130 or 1800-033-111

中国 (PRC) - +86 10 5100 3039 (Carechem24 China)

ニューギニア - +61-3-9663-2130

ニュージーランド - +61-3-9663-2130 or 0800-734-607

その他の地域 - +65 3158 1074 (Carechem24 Singapore)

カナダ: +1-905-356-8310 (Cytec Welland, Canada plant)

ヨーロッパ/アフリカ/中東 (Carechem24 UK):

ヨーロッパ, 中東, アフリカ, イスラエル - +44 (0) 1235 239 670

中東, アフリカ (アラビア語圏) - +44 (0) 1235 239 671

ラテンアメリカ:

ブラジル - 0800 0111 767 (SOS Cotec)

チリ - +56-2-247-3600 (CITUC QUIMICO)

その他の地域 - +52-376-73 74122 (Cytec Atequiza, Mexico plant)

アメリカ合衆国: +1-703-527-3887 or 1-800-424-9300 (CHEMTREC #CCN6083)

®は、米国内に登録された登録商標を示す。米国外では、登録済み、あるいは、申請中であるか、使用許諾を得て使用されている可能性もある。

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS 分類

水生環境慢性有害性 区分4

#### ラベル要素

該当せず

#### 危険有害性情報

可燃性/爆発性の空気-粉塵混和物を形成する可能性がある。

長期的影響により水生生物に有害のおそれ

## 注意書き

### 安全対策

環境への放出を避けること。微細粒子を含有する。空气中に漂う粉塵は、静電放電、火花、火炎により着火する恐れがある。換気システムを含む全装置を接地する（アースを取る）こと。

### 廃棄

内容物／容器は国及び地方の条例に従って廃棄すること。

\*で示されているGHS区分はJISでは採用されていないが、国連GHS勧告で採用されている区分である。また、現在のGHSでは記載すると定められていない追加情報を記載している場合がある。

---

## 3. 組成、成分情報

### 有害成分

成分 / CAS 番号	%	化審法番号
3,5-ジ-( <i>tert</i> -ブチル)-4-ヒドロキシ安息香酸、ヘキサデシル エステル 67845-93-6	98 - 99	(3)-4465

---

## 4. 応急措置

### 眼に入れた場合:

直ちに多量の流水で最低15分間洗うこと。

### 皮膚への接触:

直ちに多量の流水と石鹼で洗うこと。

### 飲み込んだ場合:

本物質は経口摂取しても有害ではないと考えられる。特別な応急処置は必要ない。

### 吸入した場合:

本物質は吸入しても有害ではないと考えられる。新鮮な空気のある場所に移すこと。

---

## 5. 火災時の措置

### 消火剤:

水噴射または水噴霧、二酸化炭素あるいは粉末消火器を使用すること。

### 保護具:

消防士及びその他本製品に暴露する可能性のある者は、自給式呼吸器を着用のこと。

### 特別な危険性:

本製品の粉塵は空气中で特定の濃度範囲において燃焼性の混合気を形成し、着火源が存在する場合、粉塵爆発を起こす可能性がある。

---

## 6. 漏出時の措置

### 人体への予防措置

適切な保護具については第8節（暴露管理/人体保護）を参照のこと。

### 漏出物の処理方法:

これをきれいに掃き集めて廃棄物処理容器に入れる。

漏出のあった場所は水で洗い流すこと。

### 環境的予防処置:

知られていない

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

**注意事項** : 微細粒子を含有する。空気中に漂う粉塵は、静電放電、火花、火炎により着火する恐れがある。換気システムを含む全装置を接地する（アースを取る）こと。粉塵を除去するため、取り扱い場所を充分換気すること。

**取扱い時の特別な注意事項:**粉塵が堆積しないよう環境を良好に管理しておくこと。粉塵爆発危険等級-2 本物質は爆発に対する換気の諸基準(例: NFPA)による災害が拡大する可能性がある。

### 保管:

製品の状態を保持する為、容器は常に密栓しておくこと。容器を涼しい、良く換気の効いた場所に保存する。

---

## 8. 暴露防止及び保護措置

### 管理項目 - 管理濃度及び暴露限界値

データなし

### 設備上の対応

衛生規範が遵守されていれば工学的管理は通常は不要である。

### 呼吸器官保護:

特に推奨すべき保護具はない。

### 眼の保護:

眼/顔用防具を着用すること。

### 皮膚の保護:

皮膚接触を避けること。非透過性手袋を着用のこと。

### 付記:

飲食または喫煙前に石鹼及び水で顔と手を十分に洗うこと。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

色: 白色ないし亜白色

## 9. 物理的及び化学的性質

外観:	粉末
臭気:	無臭
沸点:	該当せず
融点:	60°C
蒸気圧:	該当せず
比重:	1.07
蒸気密度:	該当せず
揮発分パーセント(重量基準):	無視できる程度
pH:	該当せず
空気中での飽和濃度(体積基準%):	該当せず
蒸発速度:	該当せず
水への溶解度:	無視できる程度
揮発性有機物((1999/13/EC):	<0.5%
引火点:	該当せず
燃焼限界(体積%):	該当せず
発火点:	知見なし
分解温度:	知見なし
分配係数(n-オクタノール/水):	知見なし

---

## 10. 安定性及び反応性

安定性:	安定
回避すべき条件:	製品の状態を保持する為、容器は常に密栓しておくこと。容器は低温で良く換気の効いた場所に保存すること。
重合:	しない
回避すべき条件:	知られていない
回避すべき物質:	強酸化剤。
有害な分解生成物	二酸化炭素 一酸化炭素(CO)

---

## 11. 有害性情報

可能性のある暴露経路: 皮膚, 眼, 呼吸器系.

健康に対する有害性

急性経口毒性: 該当せず.

急性経皮毒性: 該当せず.

急性吸入毒性: 該当せず.

皮膚腐食性/刺激性: 該当せず.

眼に対する重篤な損傷／眼刺激性：該当せず。

呼吸器感作性：該当せず。

皮膚感作性：該当せず。

発がん性：該当せず。

生殖細胞変異原性：該当せず。

生殖毒性：該当せず。

特定標的臓器毒性（単回暴露）：該当せず。

特定標的臓器毒性（反復暴露）：該当せず。

吸引性呼吸器有害性：該当せず。

## 製品の毒性情報

### 急性毒性データ

経口	ラット	急性LD50	>5000mg/kg
経皮	ウサギ	急性LD50	>5000mg/kg
吸入	ラット	急性LC50 4 hr	>20.0mg/l

### 皮膚及び眼への局所的影響

急性刺激性	経皮	非刺激性
急性刺激性	眼	非刺激性

### アレルギー感作性

感作性	経皮	非感作性
感作性	吸入	非感作性

### 遺伝毒性

#### 遺伝子の変異原性試験

サルモネラ菌を用いたエームズ試験	データなし
------------------	-------

### 有害成分毒性データ

## 12. 環境影響情報

水生環境に長期悪影響を及ぼす可能性がある。

水溶性がきわめて低いいため、種には体内利用されない。この製品は水生生物に有害であるとみなされない。この製品は易生物分解性ではない。

## 濃縮性

**試験:** 魚中での生体濃縮の程度 (OECD305C)

**試験時間:** 60日 **手順:** 食物への暴露汚染、魚類

**種:** コイ (Cyprinus carpio)

定常状態における生物

濃縮係数: Level 1 BCF

= 15 ; Level 2 BCF =

36

## 分解性

**試験方法:** 修正MITI法 (OECD 301C)

**試験時間:** 28日 **手順:** 易生分解性試験法

0%

## 13. 廃棄上の注意

### 残余廃棄物:

弊社は、もし許されるのであれば、本物質をリサイクル、回収、再使用することをお勧めします。処分が必要な時は、本物質が危険廃棄物に分類されている場合、認可された施設での熱処理または焼却処理を推奨します。地域および国の規制をすべて遵守すること。

---

## 14. 輸送上の注意

本節では、基本的出荷等級の情報を示します。個々の必要性については、適切な運送規則を参照下さい。

**ADR/RID/ADN (危険物の国際道路輸送に関する欧州協定/鉄道による危険物輸送の国際合意)**

国連危険物に該当するか。非該当/規制なし

**IMO (国際海事機関)**

国連危険物に該当するか。適用なし/規制なし

**ICAO/IATA (国際民間航空機関 / 国際航空輸送協会)**

国連危険物に該当するか。適用なし/規制なし

---

## 15. 適用法令

**消防法:** 指定可燃物

**化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法):** 該当せず

**毒物及び劇物取締法:** 該当せず

## 労働安全衛生法

**危険物・引火性の物:** 該当せず

## リスト収載情報

**日本:** 本製品のすべての成分は日本の既存化学物質台帳 (ENCS) に掲載されているか、又は、台帳への掲載が必要ないものである。

**米国 (USA):** 本製品の全成分は、TSCA化学物質リストに含まれるか、または、TSCA化学物質リストに収載の必要がないものである。

**カナダ:** 本製品の全成分は、国内物質リスト (DSL) に含まれるか、DSLに収載される必要のないものである。

**オーストラリア:** 本製品の総ての成分はオーストラリアの化学物質リスト (AICS) に収載されているか、又は、AICSに収載が必要ないものである。

**中国:** 本製品のすべての成分は中国化学物質台帳に掲載されているか、又は中国化学物質台帳に掲載の必要がないものである。

**韓国:** 本製品のすべての成分は韓国の既存化学物質台帳 (ECL) に掲載されているか、又は、台帳への掲載が必要とされないものである。

**フィリピン:** 1つ以上の成分がフィリピンの既存化学物質台帳 (PICCS) に収載されていない。

---

## 16. その他の情報

発行理由: 第2節改訂  
改訂第11節

---

作成者: Randy Deskin, Ph. D., DABT +1-973-357-3100

---

ここに提供された情報は、保証を与えたり、特定の立場を代表するものではありません。弊社は、これについて何ら法的責任を負いませんし、また特許化された発明を、実施権の許諾を受けずに、実施する事を認めたり推奨するものでもありません。本資料は、あくまでも、使用にあたり、検討、確認用に提供されるものです。製品を使用される前に、必ずラベルの記載事項を、お読み下さい。

---